



安芸の宮島「厳島神社の大鳥居」

**慶應義塾大学 広島通信三田会報**

**みやじま**

**第55号**

**2018年11月**

**慶應義塾大学 広島通信三田会**

## 目 次

全国通信三田会秋期幹事会（10月20日、三田キャンパス）	・・・	P2
慶応連合三田会大会（10月21日、日吉キャンパス）	・・・	P3～4
私の近況	・・・小林節子	P5
諸行無常について	・・・迫田 勲	P5～6
塾情報 日吉記念館建替え工事	・・・	P6
三田図書館工事近代化遺産等重点保存修理事業		
福澤諭吉先生のお墓	・・・	P6
第24回、中国・四国合同通信三田会広島大会（予告）	・・・	P7
編集後記	・・・	P7

## 全国通信三田会秋期幹事会

恒例の秋期幹事会が10月20日、46名が参加して三田キャンパス西館で開催された。山岡会長の挨拶、各部や地域の活動報告が行われ、役員人事で瀬戸田誠幹事の副会長、地域連絡部長の再任が承認された。尚、来年の春期幹事会は秋田市で行われることが決定した。続いて、奈良雅俊文学部教授、通信教育部長の「道徳と幸福」と題して記念講演が行われ、人生の目的は幸福になること、道徳はそれに到る手段。福澤諭吉は幸福とは、文明の進歩、人生の目的、それに到る道は心身の独立、公智公德の獲得である、と大変意味深いお話しをされた。最後に南校舎の「ザ・カフェテリア」に移動、奈良雅俊教授も参加され、和やかに懇親会が行われた。約2時間後、全員肩を組み、若き血を合唱して散会した。



挨拶される山岡会長



講演される奈良教授、通信教育部長



南校舎



図書館



幻の門

## 慶應連合三田会大会

秋晴れの10月21日(日)日吉キャンパスで2018年慶應連合三田会大会が開催され、恒例の福引抽選や加山雄三君のスペシャルライブ等、多彩な催で2万人を超える慶應社中が参加、朝早くから賑わった。記念式典は日吉記念館が立替え工事のため、高校の日吉会堂で行われた。今年の大会のテーマは「未来を創り 命を育む」イベントのコンセプトは「KEIO KITCHEN」。日本各地で生産者が大切に育てた食材を料理人が最高の皿に仕上げ、皆で楽しくテーブルを囲みながら食材を通じて地域の豊かさや、課題をシェア。その食の祭典、それが「KEIO KITCHEN」と大会パンフレットに書いてあり、卒業50年の招待を頂き、祝賀会では心のこもったおもてなし、「KEIO KITCHEN」に感銘、友と一緒に美味しい料理にお酒、至福のひと時であった。(迫田勲紀)



記念式典が始まる前の会場 (高校 日吉会堂)



多くの慶應社中で賑わう日吉キャンパス構内



東横線日吉駅から見た日吉キャンパス銀杏並木通り



加山雄三塾員のスペシャルライブ（高校 日吉会堂）



卒業50年祝賀会で挨拶される比企連合三田会長、右は長谷山塾長



50年祝賀会会場

# 塾員近況

## 近況報告

小林節子 (2005.3 経済学部卒)

夏休みが終わり、日吉に戻った息子から、9月の末頃にLINEがありました。母である私が、卒業論文の指導を受けた、商学部教授岡本大輔先生の初回授業の様子です。科目は「経営学」、階段教室の黒板の前の教壇に立たれた岡本先生は、14年の時を経て、とても雄々しくご健在のご様子、貫禄が増した部分はさておき、懐かしさがこみ上げました。

「親を教えた先生がまだおるって、どーなん？」と当初息子は怪訝そうな顔していましたが、1年生の必須科目ですからね、頑張って単位を頂いてくださいな。現在の成績評価は5段階(S・A・B・C・D: ※Dのみ不可) だそうですから、ぜひともS(スペシャル)を!!

さて、私が岡本先生に最後にお会いしたのは、卒業面接諮問、岡本先生の(助)教授室(三田)でした。卒論指導当時はまだ(助)だったと思います。もしかしたら、教授になって初めての通信卒業生が私ではないかしら? 息子がもし岡本先生の近くに行くことがあったら、直接訊ねてみたいと思っています。ただ、息子には私の卒論は読まれたくないなあ。。。当時岡本先生は「通信生の卒論は、卒業年と名前と表題しか記録に残さない」と言われていたので、多分大丈夫なはず。、、、はずです、多分。そもそも私のことなど覚えてないでしょうね。なかなか残酷なお話ですね。来る11/23-24、主人と二人で三田祭に行ってきます。息子がバンド演奏するので、親バカ二人、撮影行脚の予定です。ミスター慶應のエントリーについては、家訓で禁止にしました。

## 諸行無常について

迫田 勲 (昭和43年法卒)

私達は、昨日まで元気であった親しい人の突然の死に対面した時、又、近年の相次ぐ自然災害や交通事故等で多くの人が亡くなったことを知る時、悲しく人生の無常を感じます。この世のものは(人も)絶えず変わり、永遠に同じ状態が保たれるものはない、という「無常の理」は平時には理解できますが、いざ現実となると、その冷酷さ、理不尽を痛感します。

日本人の無常観については、鴨長明の「方丈記」「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。世の中にある人と棲(すみ)かと、又かくの如し」や「平家物語」の「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」に表れています。

こうした思想は仏教(浄土真宗)の白骨の御文章の「明日には紅顔有りて夕べには白骨となる身なり」にもあり、人の死の無常を説いています。

「生老病死」という4つの苦(四苦)は自然の理、何時までも若く健康で幸せを願っても、やがて老い、そして病、最後は死(不幸)へと向かい容赦なく時は流れていきます。

この「生老病死」は全ての生き物の厳しい掟(真理)、誰も避けて通ることはできません。普段元気な時、私達は生きていることに何の意識もなく生きていますが、今生きていることは奇跡、有難い(有ることが難しい)ことだと、この頃痛感しています。

私達は皆一寸先は闇と云われ、明日が分からない世の中に生きています。今生きていること(いや生かされていること)に喜びと感謝をし、1日1日、一瞬一瞬を大切に生きなければい

けない、それが生きることの意味に繋がると思います。私は週1回のペースでプールに通っていますが、そのプールサイドにある1分間に1回転する大きな秒針計を見ると、何と時間が経つことが速いこと。普段時間の速さを感じることは余りありませんが、これを見ると、刻一刻と自分は歳をとり、死へと向かっているんだなー、と感じます。

無常＝死という暗い（悪い）イメージが強いが、病が回復して元気になることも、子供が誕生、成長して立派な大人になることも、寒い冬が過ぎて暖かい春になることも、このように明るい方向（良い方向）に変わることも無常の表れであることも理解し、心穏やかに生きていきたいものです。「諸行無常」は宇宙の運行による法則、バランス、中庸の表れでしょう。

## 塾 情 報

### 日吉記念館建替え工事

日吉記念館（塾創立百年記念、1858年竣工）は建替え工事中。

建て替え後の施設は地上5階、地下1階で約1万人収容（従来は6500人収容）

2020年の東京オリンピックの前に竣工予定。

### 三田図書館工事近代化遺産等重点保存修理事業



修理工事中の三田図書

### 福澤諭吉先生のお墓

善福寺（東京都港区麻布）



## 第24回、中国・四国合同通信三田会広島大会（予告）

第24回、中国・四国合同通信三田会（主管、広島通信三田会）の日時、会場が下記の通り決定した。会場はJR広島駅北側の山（二葉山）の高台にあり展望が良く、地下1800mの海底から湧き出る天然温泉・クアハウスです。実行委員会で詳細を検討、来年2月初め頃、案内状を発送予定。

- ・日時 2019年4月20日（土） 午後 会議、記念講演会（予定）、懇親会  
21日（日） 市内観光、原爆資料館見学等を（予定）
- ・会場 神田山荘（天然温泉・クアハウス） 市内東区牛田新町1-16-1  
電話（082）228-7311  
尚、宿泊者用の部屋（シングル、ツイン、和室）を20人分仮予約した。
- ・宿泊料 7,650円（1泊2食付き）、1泊朝食のみの場合は5,650円



神田山荘休憩室より広島市内西方面を望む 遠方の中央の島は宮

### 編集後記

福澤先生は「世の中に最も大切なるものは 人と人の交わりなり」と交流の重要性を説かれ、その精神を受け継ぐ同窓会組織「三田会」は年度、ゼミ、地域、職域、海外と、その数800を超えると言われる。

毎年秋、日吉キャンパスで行われる連合三田会大会に参加すると、その活発さを実感する。来年4月、中国・四国8県の通信三田会が広島のに集まり上記の通り「中国・四国合同通信三田会大会」が行われる。多くの塾員との交流の良い機会である。是非多くの塾員の参加をお願い致します。尚、案内状は来年2月初め頃発送予定である。

慶應義塾大学 広島通信三田会報 みやじま 第54号

発行・編集 広島通信三田会 会長 迫田 勲

〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内1448番地

E-mail [i-sakoda@h9.dion.ne.jp](mailto:i-sakoda@h9.dion.ne.jp)

発行 平成30年11月30日